

花巻空港滑走路舗装改良事業の概要（1）

○事業の目的

現在の滑走路（2,500m）は、平成16年度から供用開始していますが、それから15年以上が経過し、路面の劣化（ひび割れ等）が進んでいるため、航空機の『走行安全性能』を回復させることを目的として、滑走路の舗装改良を行っています。

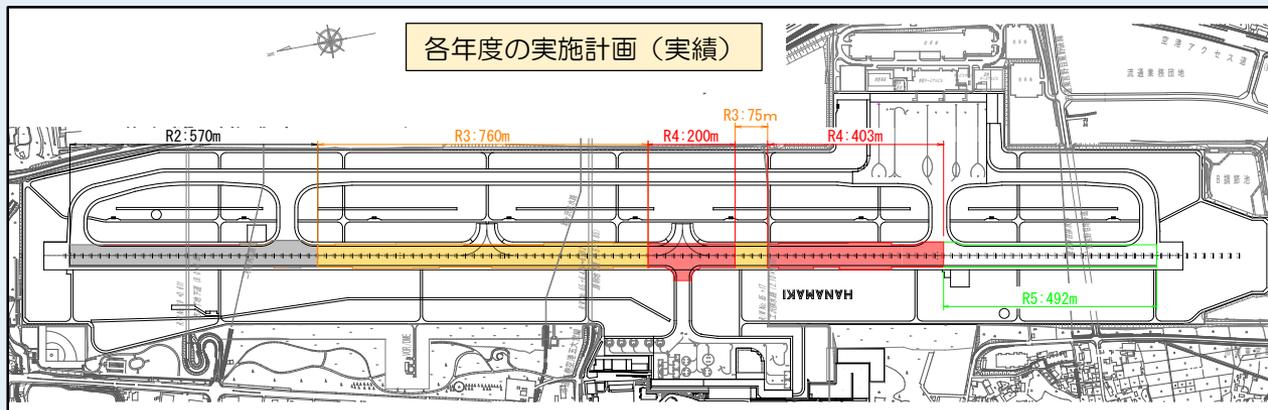
○工事の内容

舗装改良は「切削オーバーレイ工法（路面を削って舗装を新設）」を採用しています。

また、路面上に設置されている航空灯火（夜間や悪天候で視界が悪い場合に航空機の航行を援助）について、舗装施工時に支障となることから、あらかじめ撤去し、舗装完了後に再設置することとしています。

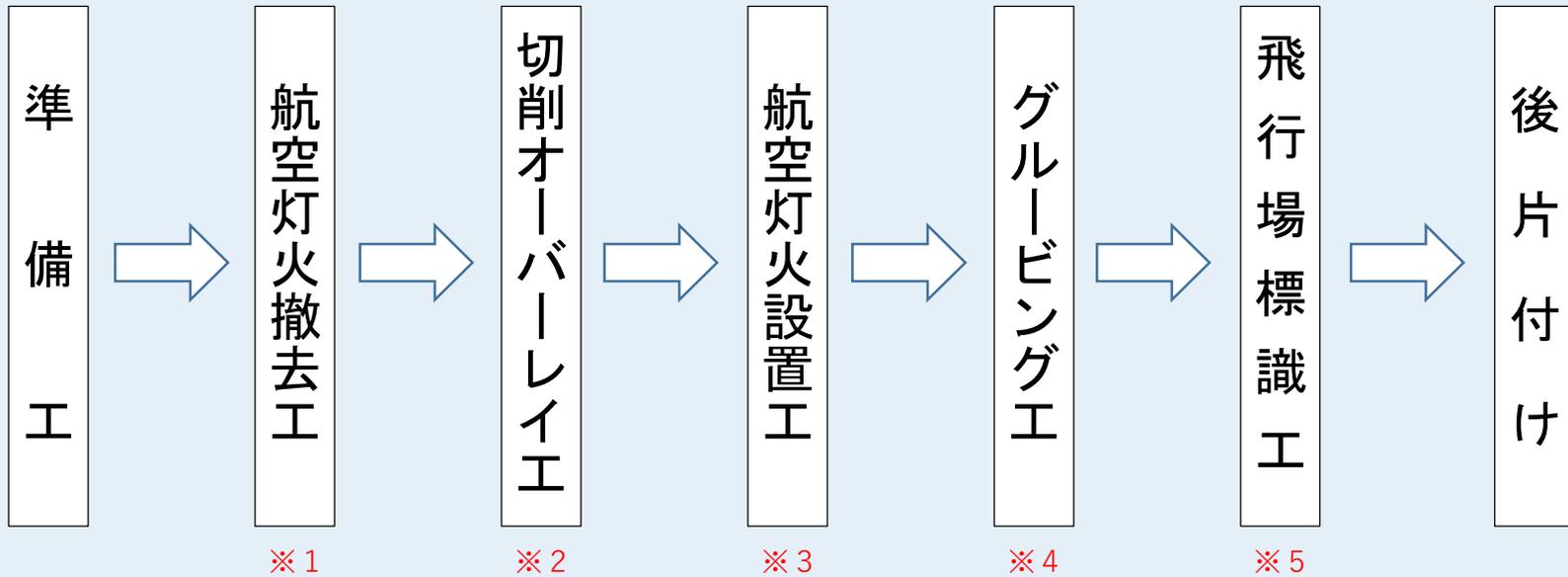
なお、花巻空港の運用時間は8時から19時30分のため、工事は運用時間外である19時30分から翌8時の夜間作業で実施し、運用時間前に航空機の離着陸に支障が無いように機能復旧する必要があります。

降雪期前に工事を完了させるため、施工期間を踏まえた4ヶ年施工で計画しており、今年度は3ヶ年目の施工となります。



花巻空港滑走路舗装改良事業の概要（2）

○工事の流れ



- ※1 : 舗装時に支障となる「埋込型灯器（舗装に埋設）」、ショルダ一部（路肩部）のすり付け舗装時に支障となる「地上型灯器（地上に突出）」について、一時的に撤去し、必要に応じて仮設灯火を設置。
- ※2 : 傷んだアスファルト舗装面を削り取り、その上に新たにアスファルト舗装を施工。
- ※3 : 一時的に撤去した「埋込型灯器」及び「地上型灯器」について、同位置に再設置。
- ※4 : 路面の排水性能を向上させ、降雨時での路面のすべり抵抗を大きくするため、舗装表面に細かな溝を設置。
- ※5 : 舗装新設に伴い消去された、滑走路及び誘導路の飛行場標識（路面標示）を設置。

